② 利用者像と利用シーン

現状の利用状況を踏まえ、利用者像 (ターゲット)、利用シーン (Park LIFE) を以下に想定した。

利用者像	利用シーン(Park LIFE)				
		朝	昼	夜	
●市民・ファミリー●仙台を訪れる人々(街歩き・観光・買い物)	 ●みどりの中を散策、お気に入りの風景を楽しむ。 ●定禅寺通から公園までジョギングでセルフフィットネス。 ●愛犬といつものコースでウォーキングを楽しむ。 ●木陰のベンチでベストセラーの読書を楽しむ。 ●移り行く四季の花や紅葉で憩いを楽しむ。 ●DATE バイクを停めてスマホで周辺情報や交通手段を調べる。 ●赤ちゃんを連れてママ友と Café でおしゃべりを楽しむ。 ●天気の良い休日はオープンテラスでファミリーランチを過ごす。 ●買い物途中に飲み物を買って一休みする。 ●子供たちを広い芝生で遊ばせて憩いのひと時を過ごす。 ●重厚感ある石積みの壁泉前で公園の歴史を感じながら休む。 	散歩・ジョギング 近隣住民の憩いと休息	お花鑑賞・ピクニック・お買い物 広場でピクニック よちなカ 公園デビュー	き書・友とサイクリング 本サイクリング 夜の公園で夕涼み (チルアウト)	街歩き・ウェルネス・観光で立寄る
●仙台の都心部で働く人	 ●公園を気持ちよく通り抜けて通勤。 ●出勤前のストレッチで心と体の準備の場所として利用。 ●ランチは木陰でお弁当を広げ、ゆとりを感じて食べる。 ●デスクを離れて公園 Café で集中する。 ●屋外のコワーキングスペースとして利用。 ●アイディア会議は風に吹かれて自由に話す場として利用。 ●Wi-Fi 環境でビジネスメールを済ませてゆとり時間をつくる。 ●新幹線の時間までベンチで議事録を書きながらゆっくり過ごす。 ●一人でぶらりエスケープ。ネガティブな自分をリセット。 ●アフターファイブは公園で乾杯。 	朝の体操・通勤 公園を通り抜けて通勤	公園でブランチ・カフェ 気分を変えて 公園でブランチ 広場 cafe 公園でリフレッシュ アイディア会		働く人が行き交う都心の
●多様な活動主体と参加 する市民	 ●よさこい祭りやダンスフェスに参加して自己表現する。 ●緑に染み込むクラシック音楽を聴いて癒される。 ●迫力あるロックフェスに参加し踊ってリフレッシュする。 ●フリマに出店・参加して市民活動を体験する。 ●マルシェで安くて新鮮な野菜と果物を手軽に買える。 ●全国のグルメを同時に食べて満足して帰る。 ●ブリーダーの集いで愛犬を自慢できる。 ●歴史講座で公園を含め地域の変遷など長い歴史を知る。 ●自然学習講座で花の種類・植え方を学ぶ。 ●ナイトシアターで懐かしいタイトルを楽しむ。 ●市民集会等で社会課題に対する意見を発信する。 	気持ちよく朝の市民活動朝の植栽管理を市民とともに	水遊び体験・グルメランチ 音楽やダンス	スを楽しむ ロマンチックな夜を歩く	多彩なイベントの場・
●その他災害時における 一時避難及びその対策 に従事する人	●災害発生時は防災機能がある公園に避難する。●新本庁舎と一体的な利用による災害対策拠点として活用する。	震災直後の市役所 本庁舎前	震災直後の市役所・ 勾当台公園市民広場に集まっ 勾当台公園周辺 た自衛隊 (2011.8.1)	災害時における活用イメージ (物資・部隊による活用)	災害対策の

引用写真:国土交通省 HP・仙台観光国際協会 HP・山口市 HP・姫路市 HP・名古屋市 HP

③ 勾当台公園再整備に向けた基本理念(コンセプト)と基本的な方向性

先述の再整備に向けて配慮すべき事項および利用シーンを踏まえ、勾当台公園再整備に向けた基本理念(コンセプト)を設定し基本的な方向性を整理した。

再整備に向けて配慮すべき事項

勾当台公園 の特性

- ・3 つの広場の機能連携と立地特性に応じた利活用
- ・公園整備の歴史・文化の保存と継承
- ・市民が集うイベント広場としての利活用の維
- ・徒歩で回遊できるアクセス性、交通結節点とし ての機能の活用

公園施設の 機能充実・ 更新

- ・まとまりのある広場空間の確保と適切な通行空間 の連携配置
- ・樹木の生育環境の改善、老朽施設の修繕・リニュ
- ・歩行空間の快適性・安全性・バリアフリーの確保
- ・グリーンインフラとしての機能形成

公園運営

- 情報発信機能の向上
- ・官民連携 (PPP) 等の導入
- ・多様な主体が協働するパークマネジメントの導入
- ・周辺施設との一体的なマネジメントに関する検討
- ・ブランディング

利用シーン

- ●市民・ファミリー ●仙台を訪れる人々 (街歩き・観光・買い物)
- ●仙台市の都心部で 働く人
- ●多様な活動主体と 参加する市民
- ●その他災害時にお ける一時避難及びそ の対策に従事する人

街歩き・ウェルネス・ 観光で立寄るゆとり の空間

働く人が行き交う都 心のオープンスペー

多彩なイベントの場・ にぎわいの場

災害対策の拠点

基本理念(コンセプト)

"Common Garden"

~ 「ひと」と「まち」をつなぐ交流・にぎわいの拠点~

"Common Space" × "Garden"

豊かなみどりと人の活動・にぎわいとが調和した 「杜の都 仙台」の暮らしの豊かさを実感できる、 また新しいこと(市民活動等)へのチャレンジや、思 い思いの利用ができる**「みんなが使い・育てる私た ちが誇りに思う庭」**として、仙台のシンボルとなる 公園を目指します。

- ▶ 公園で展開される豊かさや賑わいが、勾当台・定 禅寺通エリアへと人を呼び込む、エリアの**吸引力 の核**となります
- ▶ そして、公園からの人流が生まれ、都心部のみど りの回廊を通じて周辺の定禅寺通や一番町とい った都心へと環流していきます
- 公園内の「みんな」の活動が、まちの魅力や当該 エリアの価値を向上させていきます

基本的な方向性

1. 仙台ブランドの発信拠点 【世界とつながる】

仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャ ズフェスティバル、SENDAI 光のページェントなどの仙台 の魅力を発信する大規模なイベントのメイン会場としての 使用やブランド力を持つ公園デザイン等を通じて The Greenest City SENDAI の発信拠点とします。



2. 多彩な市民活動による交流と創造の場 【人がつながる】

新庁舎低層部や勾当台通・定禅寺通、西公園・錦町公園の 広場と連携・分担しながら、市民活動のチャレンジの場と なるとともに、市民団体や市民同士の交流が深まり、まち づくりを創造する場とします。



3. 都心のサードプレイス【心がつながる】

コミュニティライフを実現するオープンスペースとして、 昼間だけでなく、夜間は照明など光の演出により、誰も が気軽に、安心して訪れる居心地の良い都心のオアシス 空間をつくり、市民生活にいこいやゆとりを提供します。



4. みどりの回遊拠点【街がつながる】

仙台のグリーンインフラである「都心部のみどりの回廊」 の拠点として、にぎわい・レクリエーション・緑陰の提供等 の多様な緑の機能を活用しながら、まちの回遊性を高 め、にぎわいと交流の拠点とします。



5. エリアマネジメントの展開 【時がつながる】

新本庁舎低層部や定禅寺通活性化の取組みと連携し、勾 当台・定禅寺通地区におけるエリアマネジメントの展開等 により、地区のブランディングを強化し、良好な環境や地 域の価値を向上させ、未来へと継承します。

